

地域とお客さまの発展のために

「南日本銀行グループSDGs宣言」

南日本銀行グループは、国連が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)に賛同し、達成に向けた取組みを推進することで、地域の皆さまとともに地域社会が抱える課題の解決と持続可能な社会の実現に貢献し、地域とともに持続的に成長していくことを目指してまいります。

● 重点課題と取組方針

《地域経済の回復及び持続的な成長への貢献》

私たちは、鹿児島県を地盤とする地域金融機関として、事業者への本業支援や経営改善支援などの金融仲介機能を発揮するとともに、デジタルトランスフォーメーション等を活用した金融サービスの提供を通じて、ポストコロナに向け、地域経済の回復及び持続的な成長に貢献してまいります。

《地域社会とのパートナーシップ及び環境問題への取組み支援》

私たちは、地域社会やお客さまと互いに協働し、地元の豊かな自然や歴史的・文化的遺産を守るとともに、環境保全・気候変動リスクの低減に向けた事業・取組みを支援してまいります。

《全役職員の活躍促進》

私たちは、多様な人材が最大限に個性と能力を発揮でき、働きがい・生きがいのある職場環境を創ることで、質の高いサービス・ソリューションの提供を実現し、人と街が豊かに成長する地域社会の実現に努めてまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



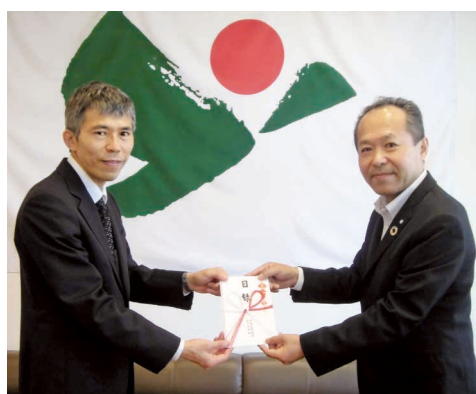
地域とお客さまの発展のために

E:Environment(環境)

■ 寄附金の贈呈について

「奄美大島・徳之島」が「屋久島」に続き鹿児島県で2つ目の『世界自然遺産』に登録されたことを記念し、2021年11月22日(月)～2022年3月31日(木)の期間、「なんぎん世界自然遺産登録記念定期預金」を販売しました。

本定期預金は、お客さまからお預入れいただいた預金残高の0.01%相当(上限100万円)を、鹿児島県の環境保護に役立てていただくために寄付する寄付型定期預金となっており、2022年5月6日(金)に、「奄美群島広域事務組合」及び「公益財団法人屋久島環境文化財団」へ、それぞれ50万円ずつ贈呈しました。



S:Social(社会)

■ 『ケーキ de 景気回復プロジェクト』

～高校生による「マイケーキコンテスト作品」商品化～

2022年4月、永年地域の方々に愛され続けている、柿原製菓株式会社の代表商品「マイケーキ」を素材にした創作料理コンテストを開催し、学校法人日章学園鹿児島城西高校パティシエコースの生徒が挑戦しました。

コンテスト最優秀賞作品の商品化に向け、2022年6月、コンテストに参加したプロを目指す生徒たちに対し、鹿児島サンロイヤルホテル天川料理長による製作デモンストレーションの開催など、プロの技を学ぶ機会の提供を行いました。

コンテスト最優秀賞作品「オールスターかごどん」は、同ホテルのカフェレストラン「トリアン」にて、期間限定(2022年7月下旬～8月中旬)で提供することを予定しています。



<高校生最優秀賞作品「オールスターかごどん」>



<ホテル提供予定(天川料理長作)>



<製作デモンストレーションの様子>

地域とお客さまの発展のために

E:Environment(環境)

取引先の「地域内循環型リサイクル」に向けた取組みを支援

当行取引先である株式会社丸山喜之助商店は、日置市の家庭や事業所から出る廃棄食品を、有機堆肥にリサイクルする「食品ロスリサイクル堆肥化事業」を展開し、日置市生ゴミ再生堆肥「よかんど(良かん土)」を製造販売しています。

当行は、同社の事業による環境負荷軽減への取組みを支援するため、日置市と連携し、日置市茶業研究会(ASIAGAP日置部会)へ同堆肥の活用を提言することで、新銘柄の玉露「オール日置茶」の商品化に参画しました。

当行は、「食の循環」を目標とした同社の事業をSDGs(持続可能な開発目標)の精神に繋がる取組みとして評価し、地域内循環型リサイクルの形成に向け、引き続き地域創生に積極的に取組んでいます。



S:Social(社会)

「なんぎんSDGs私募債」でお客さまの地域貢献をサポート

お客さまのSDGsの精神に繋がる取組みや地域貢献活動をサポートすることを企画し、2021年10月より「なんぎんSDGs私募債」の取扱いを開始しました。

お客さまが発行する債券を当行が引受ける際に、発行額の0.2%を地方行政や医療機関、公共性の高い団体・企業等に対し「寄付・寄贈」することで、お客さまの地域社会への貢献をサポートしています。

【なんぎんSDGs私募債引受け実績(2022年3月末時点)】 6先(発行額合計380百万円)



E:Environment(環境)

信用保証書等の電子授受によるペーパーレス化の実施

当行は、2021年6月に鹿児島県信用保証協会、2022年5月に宮崎県信用保証協会と信用保証書等の電子受領サービスの運用を開始しました。

従来は、信用保証書等を郵送で受領していましたが、高いセキュリティ技術(電子署名・タイムスタンプ等)を用いることで、信用保証書等の電子化の実施に至りました。

本件により、信用保証書の授受に伴う時間の短縮が図られ、よりスピーディーな融資実行に加え、ペーパーレス化による信用保証書等の紛失リスクの低減や事務コスト削減等を見込んでいます。



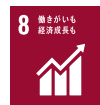
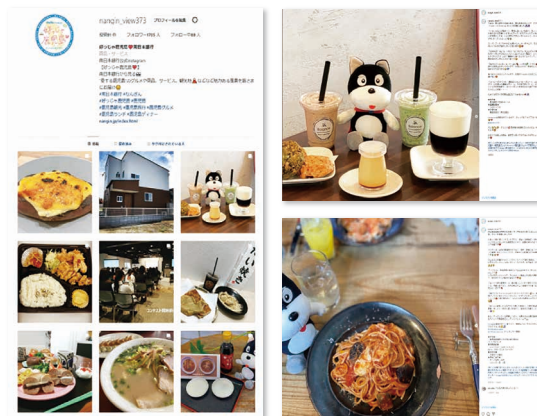
地域とお客さまの発展のために

S:Social(社会)

■なんぎん公式Instagramを通じた地域経済支援

新型コロナウイルス感染症により影響を受けている取引先の事業者の皆さまや、地元鹿児島島の観光地支援を目的として、公式Instagram「nangin_view373#好っじゃ鹿児島島」を通じて鹿児島島のグルメや商品・サービス、観光地、魅力ある風景などを紹介し地域経済の活性化を支援しています。

アカウント名:nangin_view373
キャプション:好っじゃ鹿児島島
URL:https://www.instagram.com/nangin_view373



S:Social(社会)

■「電話リレーサービス」への対応について

地域社会に対する取組みとして、聴覚や発話に困難があるお客さまに対し、双方のコミュニケーション促進の観点から、「電話リレーサービス※」の取扱いを開始しました。

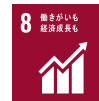
※電話リレーサービス…通訳オペレータが聴覚や発話に困難がある方の希望する相手方の電話番号へ電話をかけ、「手話」や「文字」を通訳して相手方に伝達するほか、相手方の「音声」を通訳して聴覚や発話に困難がある方に伝達することで、双方のコミュニケーションをとることができるサービスです

<対応可能な事項及びお問い合わせ先>

【対応可能事項】

- ①預金通帳・証書、キャッシュカード、お届け印の紛失、盗難時のお届け
- ②一般的なご質問事項(お電話ではご預金の残高や取引明細の照会には応じられません)
- ③弊社からお客さまに対する取引等に関する各種ご連絡(事前に電話リレーサービス用電話番号のお届けが必要です。)

【お問い合わせ先】 事務統括部 事務企画管理グループ TEL.099-226-1412(平日9:00~17:00)



G:Governance(ガバナンス)

■ガバナンスの強化(社外取締役・監査役の強化)

当行では、持続的な成長および中長期的な企業価値向上を図るため、取締役会を「株主総会の負託により経営の施行を行う最高意思決定機関」としており、その構成メンバーとして、当行及び当行グループに在籍経験がなく独立性の高い社外取締役を2名選任しています。また、その執行状況を監視するために、監査役制度を採用しており、当行グループに在籍経験のない社外監査役3名を含む4名の監査役で構成された監査役会を設置しており、監査役は、取締役会及びその他の重要な会議に出席し、取締役会の意思決定プロセスならびに業務執行状況の監督及び監査を行っています。

■その他の取組み

- (1) 商工組合中央金庫との連携
 - ①シンジケートローン業務における連携・協力に関する覚書の締結
 - ②事業再生・経営改善支援に関する業務協力契約の締結
- (2) ボランティア活動への参加
- (3) 難民古着支援プロジェクトへの参加
- (4) ペーパーレス化への取組み
- (5) 人材マッチング支援
- (6) 再生可能エネルギー発電の導入支援
- (7) 住宅ローンにおけるLGBTQ対応 など



地域とお客さまの発展のために

● 主要な業務内容

預金業務 当座預金、普通預金、貯蓄預金、通知預金、定期預金、納税準備預金等を取り扱っております。

融資業務 手形貸付、証書貸付、当座貸越を取り扱っております。また、手形の割引(商業手形等の割引)を取り扱っております。

内国為替業務 送金為替、代金取立等を取り扱っております。

WIN-WINネット業務 中小規模事業者のお取引先に対して、新たな販路開拓や事業運営方法の改善を行っております。

証券業務 国債等公共債の売買業務を行っております。

附帯業務 損害保険及び生命保険の窓口販売などを行っております。

● 南日本銀行のあゆみ

- | | | | |
|----------------------|--|---------------------------|--|
| 1913 (大正 2) 年 9月 | ● 同仁貯金合資会社設立(創業)
● 本店/鹿児島県始良郡東国分村(現霧島市国分広瀬) | 10月 | ● 資本金46億4千万円 |
| 1936 (昭和11) 年 4月 | ● 鹿児島無尽株式会社に組織変更 | 11月 | ● 無償増資により資本金48億9千5百万円 |
| 1937 (昭和12) 年 5月 | ● 鹿児島支店(現本店の旧館)新築落成 | 1990 (平成 2) 年 3月 | ● アサヒエステート(株)設立 |
| 1943 (昭和18) 年 11月 | ● 鹿児島無尽株式会社、鹿児島相互無尽株式会社合併設立 | 5月 | ● 全国キャッシュサービス(MICS)に参加 |
| 1951 (昭和26) 年 3月 | ● 資本金5,000万円 | 8月 | ● 南日本バンクカード(株)設立 |
| 10月 | ● 相互銀行法施行に伴い、株式会社旭相互銀行に商号変更 | 12月 | ● イメージキャラクター「なんちゃん・ミミちゃん」決定
● サンデーバンキング実施 |
| 1952 (昭和27) 年 2月 | ● 資本金1億円 | 1991 (平成 3) 年 1月 | ● テレビ広告開始 |
| 3月 | ● 定期積金取扱開始 | 6月 | ● 里村指定金融機関事務取扱開始 |
| 1953 (昭和28) 年 11月 | ● 内国為替取扱開始 | 1992 (平成 4) 年 2月 | ● 中間発行増資により資本金67億7千7百万円 |
| 1958 (昭和33) 年 10月 | ● 旭相互銀行健康保険組合発足 | 3月 | ● 本店営業部全面改装 |
| 1960 (昭和35) 年 1月 | ● 日本銀行と当座取引開始 | 4月 | ● 地元5行庫による店舗外現金自動設備の共同利用開始 |
| 1962 (昭和37) 年 12月 | ● 日本銀行歳入代理店事務取扱開始
● 旭ビルディング(株)設立 | 5月 | ● 第3次オンラインシステム稼動 |
| 1963 (昭和38) 年 4月 | ● 旭保養センター完成 | 1996 (平成 8) 年 11月 | ● 本店営業部・県庁出張所開設 |
| 9月 | ● 創業50周年 | 1997 (平成 9) 年 3月 | ● 「なんぎん産学交流支援サービス」取扱開始 |
| 1964 (昭和39) 年 5月 | ● 資本金6億円 | 1998 (平成10) 年 4月 | ● 「なんぎん懸賞付定期預金」発売 |
| 8月 | ● 資本金6億3,000万円 | 12月 | ● 本店の建物が県内初の登録有形文化財に登録 |
| 1967 (昭和42) 年 12月 | ● 本店増改築落成 | 1999 (平成11) 年 3月 | ● 郵便局とのATM(CD)相互利用開始 |
| 1973 (昭和48) 年 3月 | ● 資金量1,000億円突破 | 9月 | ● 証券投資信託の窓口販売業務取扱開始 |
| 6月 | ● 行内報「あさひ」創刊 | 2000 (平成12) 年 3月 | ● 第三者割当増資により資本金91億1百万円 |
| 10月 | ● 資本金10億円 | 2001 (平成13) 年 4月 | ● 損害保険商品窓口販売開始 |
| 11月 | ● 両替業務取扱開始 | 2002 (平成14) 年 10月 | ● 生命保険窓口販売開始 |
| 1976 (昭和51) 年 9月 | ● 為替オンラインシステム稼動 | 11月 | ● ダイレクトローンセンター業務開始 |
| 12月 | ● 資本金18億円 | 2003 (平成15) 年 8月 | ● 四半期情報開示開始 |
| 1977 (昭和52) 年 3月 | ● 資金量2,000億円突破 | 2004 (平成16) 年 6月 | ● 執行役員制度導入 |
| 8月 | ● 第1次オンラインシステム稼動 | 10月 | ● 決済用普通預金取扱開始 |
| 1979 (昭和54) 年 2月 | ● 全銀データ通信システム加盟 | 2006 (平成18) 年 4月 | ● 本店が鹿児島市より「環境管理事務所」に認定 |
| 1980 (昭和55) 年 4月 | ● 外国為替業務取扱開始 | 2008 (平成20) 年 10月 | ● なんぎん住宅ローンセンター開設 |
| 5月 | ● 「旭相互銀行史」発刊 | 2009 (平成21) 年 3月 | ● 第三者割当方式によるA種優先株式150億円発行
● 資本金166億1百万円 |
| 11月 | ● 旭霧島荘オープン | 5月 | ● なんぎん個人相談プラザ開設 |
| 1981 (昭和56) 年 5月 | ● 旭ボランティアサークル結成 | 11月 | ● 花棚支店開設(2010年3月移転オープン) |
| 6月 | ● 資金量3,000億円突破 | 2010 (平成22) 年 3月 | ● 熊本支店(河原町支店及び熊本市場支店を統合後)熊本営業部へ昇格 |
| ● 相銀ワイドサービス(SCS)取扱開始 | 2011 (平成23) 年 4月 | ● ミナネット支店開設 | |
| 1982 (昭和57) 年 8月 | ● 金の売買業務取扱開始 | 10月 | ● WIN-WINネット業務開始 |
| 1983 (昭和58) 年 4月 | ● 国債窓口販売業務開始 | 2012 (平成24) 年 5月 | ● 種子島支店リニューアルオープン(新築移転) |
| 10月 | ● 資本金27億2千5百万円
● 「調査速報」発刊 | 10月 | ● 西谷山出張所開設(2013年4月移転オープン) |
| 12月 | ● 資金量4,000億円突破 | 11月 | ● with youプラザ開設 |
| 1984 (昭和59) 年 3月 | ● 南九州サービス(株)設立 | 2013 (平成25) 年 9月 | ● 創業100周年
● 上川内出張所開設(2014年2月移転オープン) |
| 5月 | ● 「あさひワイドカード」取扱開始 | 2014 (平成26) 年 4月 | ● 伊集院支店リニューアルオープン(新築移転) |
| 10月 | ● 相銀データ伝送システム(SDS)取扱開始 | 9月 | ● 西田支店オープン(城西支店と宮田支店を統合) |
| 11月 | ● 第2次オンラインシステム稼動 | 2016 (平成28) 年 3月 | ● 笠之原支店リニューアルオープン(新築移転) |
| 1985 (昭和60) 年 3月 | ● MMC(市場金利連動型預金)発売開始 | 10月 | ● 紫原支店リニューアルオープン(新築移転) |
| 7月 | ● 旭ファイナンス(株)設立(現 なんぎんリース(株)) | 2017 (平成29) 年 5月 | ● 上町支店リニューアルオープン(新築移転) |
| 12月 | ● 自由金利型定期預金の取扱開始 | 9月 | ● 東京支店リニューアルオープン |
| 1986 (昭和61) 年 6月 | ● 旭ビジネスサービス(株)設立 | 2019 (平成31) 年 1月 | ● 新勘定系システムの稼働開始 |
| 1987 (昭和62) 年 4月 | ● 鹿児島ネットサービス(KNS)取扱開始 | 2019 (令和 元) 年 8月 | ● 福岡支店リニューアルオープン |
| 6月 | ● 公共債ディーリング業務取扱開始 | 2020 (令和 2) 年 1月 | ● 下甌支店に昼時間休業導入 |
| 7月 | ● あさひニュービジネスクラブ(ANBC)設立 | 2月 | ● 安房支店を屋久島支店内に移転統合(店舗内店舗) |
| 10月 | ● 福岡証券取引所に株式上場 | 3月 | ● 宮崎支店リニューアルオープン(移転) |
| 11月 | ● 旭相互銀行厚生年金基金設立 | 4月 | ● 玉名支店を熊本営業部内に移転統合(店舗内店舗) |
| 1988 (昭和63) 年 4月 | ● 外替オンラインシステム稼動 | 5月 | ● 県庁支店に昼時間休業導入 |
| 6月 | ● 公共債フルディーリング業務取扱開始 | 12月 | ● 吹上支店・喜入支店に昼時間休業導入 |
| 11月 | ● 南日本銀行VI発表(シンボルマーク、ペットネーム「フレッシュバンク」を制定) | 2021 (令和 3) 年 4月 | ● 屋久島支店・安房支店・宮崎支店・福岡支店・小倉支店・
● 鹿児島支店・吉野支店・明和出張所に昼時間休業導入 |
| 12月 | ● 海外コレレス業務取扱開始 | 5月 | ● 川辺支店・額姓支店・草牟田支店・玉里支店・星ヶ峯支店・
● 桜ヶ丘支店に昼時間休業導入 |
| 1989 (平成 元) 年 2月 | ● 普通銀行に転換、南日本銀行に商号変更 | 9月 | ● 第三者割当方式によるB種優先株式85億円発行
● 資本金208億51百万円 |
| ● (社)全国銀行協会へ加盟 | ● 下甌村指定金融機関事務取扱開始 | ● 下甌支店を鹿児島支店内に移転統合(店舗内店舗) | |
| ● 東京支店、東京事務所開設 | ● 東京支店、東京事務所開設 | 10月 | ● 明和出張所を西田支店内に移転統合(店舗内店舗) |
| | | 11月 | ● 天文館支店を本店営業部内に移転統合(店舗内店舗) |